

たいにい・ぽっくすつうしん

Vol.33

平成29年
12月12日

一息つくための、年の境。

すでに霜月も過ぎ、今年も残りわずかとなりました。

ビジネス調査機関から「わが国大企業の間管理職とその昇進」と題された論文が発表されました。なんでも、昇進するポイントとして「責任感の強いことは、昇進を妨げる可能性が高い」という、なんとも残念な結果がでていたとのこと。責任感＝正義感。責任感の高い人は正義感も強いいため、自らの責任に加え、他者への責任追及も厳しい。組織でおこる問題の多くは、たったひとりの人物が原因である場合はごくまれで、ひとりが正直に告白することで困る人も少なからずおり、厄介な存在に。子どもたちとの過ごしの中で、その子の強みとして見守りたい正義感が、社会にでるとマイナスに働くこともある事実が何とも言えない空しさを覚えます。

すっかり寒くなりました。肩の力を抜くために年の区切りがあるのだと、身に染みて感じるこの頃です。みなさまが無事にお年越しできますように、お祈りを申し上げます。

たいにい のようす

帰りの会でボーリングゲームをしました。様々な投球でピンめがけてチャレンジです。



カレンダー作り。接着材や絵の具を使用するので乾くのを待つ工程があるので時間を要しています。お楽しみにしてください。



ぎょうざの皮で包んだスイートポテト。おいしいと好評でした。



～TEACCH プログラムの原則～

TEACCH (ティーチ) プログラムとは、米国ノースカロライナ大学が基盤をつくった自閉スペクトラム症の人とその家族に対する支援システムのことです。日本に導入されてから30年ほど経過し、今ではプログラムの一環である「構造化」「視覚支援」といった言葉が頻繁に使われるようになりました。

TEACCH では、自閉スペクトラム症の特性を“理解する”が原則です。本人に変わることを望むのではなく、周りが理解し、本人とその家族から学ぶという姿勢を大切にすること。「構造化」「視覚支援」等の手法がTEACCH であると思われがちですが、本来は、ひとりひとりに合った配慮と調整を見つけることがTEACCH の本質なのです。

1月 イベントの予定
初詣、ズーラシア
(冬季長期休暇計画書参照)

1月 休業日

1日 2日 3日

6日 7日 8日

13日 14日

20日 21日

27日 28日

